

(3)『オーストラリア現地環境スタディ』

- 日 時： ①平成28年7月31日（日）～8月6日（土）
②平成28年8月14日（日）～8月20日（土）
- 参加者： 2年SGコース生徒（①14名、②13名）及び
職員（①飯田副校長・岩木、②田中教頭・木村）
- 訪問先： アデレード（オーストラリア）
- 目 的： (1) 環境保護に力を入れているオーストラリアで、環境関連施設の視察、高校・大学訪問・交流等を行う。
(2) 事前の準備や事後の振り返り等をとおして、自国の文化等について見つめ直し、英語発信力を向上させる。
(3) 環境学習から得た知識や情報を利用し、それぞれの課題研究の更なる深化を図る。

【研修内容】

研修内容

①7月31日（日）

②8月14日（日）



①8月1日（月）

②8月15日（月）



1. 学校出発（6：30）

福岡空港に向けて出発。

2. 福岡空港～シンガポールチャンギ国際空港～

オーストラリアアデレード空港（10：00～翌7：30）

福岡空港からシンガポール空港を経由して、アデレード空港へ向かった。シンガポール空港では約7時間待機し、空港探索や研修へ向けての準備を行った。シンガポールからオーストラリアまで機中泊は少々きつかったようだ。

3. アデレードに到着（7：30～9：00）

無事アデレードに到着。IELI（INTENSIVE ENGLISH LANGUAGE INSTITUTE）現地担当者と合流し、アデレード市内へ移動。

4. IELI シティーセンターにてオリエンテーション

（9：00～10：00）

アデレード市内見学に関する説明が行われた。機中泊の疲れと慣れない環境での緊張感からか、この時はまだ担当者からの問いかけにすぐには対応できていなかった。



①8月2日（火）
②8月16日（火）



①前半グループ



②後半グループ



5. フリンドース大学の学生との南オーストラリア博物館及び アデレード市内見学（10：00～11：30）

アデレードは環境的に持続可能な都市作りを目指し、様々な取り組みを行っている。町が工夫している所を実際に歩いて見て回った。

南オーストラリア博物館では、資料や展示物を見たり、説明を聞いたりして、オーストラリアの文化や歴史について学んだ。

前半グループは全員一緒に案内されたため、説明が聞き取りにくい場面があり残念だったが、町の様子を目で見て肌で感じる事ができていた。後半グループは3グループに分かれて説明を聞くことができ、自分から学生に質問をする場面が見られた。

6. セントラルマーケット見学及び昼食（12：00～14：00）

様々な食べ物が集まったフードコートで昼食。アジア系の店が主だったが、自分たちで食べたいものを選び、英語で注文をしていた。また、近くにあるいろいろな店にも立ち寄り、アデレードの日常の雰囲気を感じた。

7. IEJ シティーセンター帰着後、フリンドース大学へ移動 フリンドース大学見学及びホストファミリーとの対面 （14：30～17：00）

説明を受けながら、広大なフリンドース大学を見て回った。環境を学ぶ学部もあるということで、周囲には様々な生き物がいた。また、高台にあるので、遠くに海を見渡すこともできた。

1. 前日の市内見学を振り返り、町の環境についてIEJの留学生と 意見交換及び日本人留学生のスピーチ（9：30～11：00）

4グループに分かれ、グループ毎に1人留学生が入り、前日のアデレード市内見学で気づいたことや気になったことを英語で説明したり、質問したりした。一定時間で留学生が各グループを移動したので、同じことを繰り返し話す内に、英語を使うことに抵抗がなくなり、積極的に話そうとする姿が見られた。最後に、高校の時からアデレードに留学している大津町出身の美星さんから、留学を決意するに至った経緯や留学の感想等を話していただいた。

2. ①フリンドース大学スタッフによる生物多様性に関するレクチャー 及び野鳥観察（11：00～12：00）

②ASMS (Australian Science and Mathematics School) 高校で水質調査（11：00～12：00）

前半グループは、フリンドース大学の先生から生物多様性について英語で講義を受けた。言っている内容はなんとなく分かっているが、とっさに質問に答えることは難しかったようだった。

後半グループは、大学の都合により、高校で水質調査プロジェクト体験となった。説明を受け、敷地内にある池の水質調査を行った。初めて扱う機器に戸惑いながらも興味を持って活動に取り組んでいた。

①前半グループ



②後半グループ



①8月3日(水)

②8月17日(水)



3. ①大学の食堂で昼食後、研究室にてカクレクマノミの行動観察及び観察結果の検証(12:00~15:30)

②昼食後、午前中の水質調査のまとめ(12:00~15:30)

前半グループは、大学の研究室において、2人一組でカクレクマノミの雄と雌の行動を観察し、その観察結果を発表し、全体で分析を行った。また、顕微鏡を使ってカクレクマノミの稚魚を見た。実際に観察や分析を行い、機器も使ったので、座学以上に興味を持って取り組む姿が見られた。

後半グループは、午前中に行った水質調査に関して、気づいたこと等をまとめ、英語で発表した。講師の先生の説明を聞いたり、アドバイスをもらったりしながら、熱心に準備と発表を行っていた。

4. ①大学内のIELセンターに戻り、ASMSの高校生と交流(15:30~17:00)

学校や自分の国の特徴等について、ASMSの高校生4名とグループに分かれて、学校や日常生活について話をした。同じ年代の人との交流ということで、すぐに打ち解け、楽しそうに英語で話をしていた。

1. ASMS高校の先生による生物多様性に関するプロジェクトの説明(9:30~10:45)

生物多様性に関する講義と観察で用いる機器に関する説明があった。講義は丁寧に、一人一人指名しながら進められた。

2. 屋外での生物観察(10:45~12:00)

広大なフリンダース大学の敷地内に生息する生物を歩いて観察して回った。機器を用いてその生息地の赤外線や紫外線量、光量、温度等を計測したり、発見した生物の写真を撮ったりした。日本では見ない鳥や虫を見ることができ、楽しみながら観察を行っていた。

3. ASMSの高校生と昼食(12:00~13:00)

前日に交流した生徒を含め、4~5名のASMSの高校生と一緒に昼食を取り、交流を深めた。

4. 午前中の生物観察に関する発表準備及び発表(13:00~15:00)

午前中に収集したデータや資料を用いて、観察の結果をパワーポイントでまとめて英語で発表した。短い時間の準備だったが、それぞれ自分たちで検証したことを英語で発表できていた。

5. IELにて、留学生と環境や研究に関する意見交換(15:30~17:00)

IELに戻り、グループに分かれて、自分の研究について留学生に英語で説明し、意見をもらった。説明に戸惑う場面もあったが、あきらめずに一生懸命伝えようとしていた。

①8月4日(木)

②8月18日(木)



1. ①今回の研修で学んだことに関するまとめとスピーチ準備 (9:30~11:00)

②アボリジニーの文化に関する講義(9:30~11:00)

前半グループは、環境に関してアデレードで学んだことについて、各班テーマを決めて発表する準備を行った。

後半グループは、アボリジニーの文化について、IELの講師の先生から講義を受けた。

2. Mt.Lofty 及び Cleland Wildlife Park 訪問 (11:00~16:00)

Cleland Wildlife Park に行く途中、Mt. Lofty の展望台に立ち寄った。アデレードの町を一望することができた。



その後、Cleland Wildlife Park を訪問。オーストラリア特有の動物が多数おり、それらを間近に見たり、カンガルーやワラビーにえさをあげたりした。コアラにも触ることができ、貴重な体験をすることができた。自分たちで見て回るだけでなく、飼育員の方から様々な動物について英語で説明をしていただき、直接触ることもできた。生徒たちは皆、興味を持って話を聞き、行動していた。

3. フリンダース大学IELに戻り、フェアウェルパーティーに向けて準備(16:40~17:30)

IELに戻り、フェアウェルパーティーに向けて、感謝の気持ちを表すポスター作成やスピーチの準備を行った。

4. フェアウェルパーティー(17:30~19:00)

フェアウェルパーティーには、研修でお世話になった職員の方々やボランティアの学生、ホストファミリーに集まっていた。ピザや各ホストファミリーが持ち寄った食べ物を食べ、最後に生徒一人一人、研修で学んだこと、お世話になった方々への感謝の気持ち等を英語で発表した。来ていただいた人たちには生徒の発表を熱心に聞いていただき、生徒が感極まって泣く場面も見られた。

<p>①8月5日（金） ②8月19日（金）</p>   <p>①8月6日（土） ②8月20日（土）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. アデレード空港集合・出国手続き・出発（6：45～9：10） ホームステイ先の方々に送迎していただき、出国手続きを終え、アデレードを後にした。 2. アデレード空港～シンガポールチャンギ国際空港 （9：10～15：10） 入国手続き後、シンガポール市内見学（15：10～21：00） 車窓からオーチャード、リトル・インディア、アラブ・ストリートを見て回り、マーライオン公園、チャイナタウンに立ち寄った。最後にガーデンズバイザベイにて光のショーを見学した。短時間の見学であったが、生徒たちは楽しんでた。 <ol style="list-style-type: none"> 1. シンガポール空港～福岡空港（1：20～8：40） 2. 入国手続き後、福岡空港を出発、学校へ （8：40～11：30）
---	--

オーストラリア現地環境スタディを終えての感想

・私は、今回のオーストラリア研修で、多くの新たな発見をすることができた。

私にとって初めて海外での生活でホームステイというのは、出発前から不安も多くあったが、楽しみでもあった。初日にホストファミリーに迎えてもらったときには、とても温かく迎え入れてもらった。その後も、自分自身のことや家族のこと、日本のことなどについて、いろいろと話すことができた。ホストファミリーには本当に感謝の気持ちでいっぱいだった。4泊では短く感じたので、帰る日にもう少し長くいたいと思った。その他にも、フリントダース大学の研修では、クマノミの生態などとても興味深い内容について学ぶことができた。全て英語でレクチャーを受け、全て聞き取ることができたわけではなかったけれど、何とか理解しようと必死に頑張ることができたと思う。また、現地の留学生や学生とも多くのことを話した。自分の研修について話すときが、一番難しかった。事前に英訳してきた内容を、自分なりに分かってもらうように説明したけれども、なかなか真意が伝わらなかった人もいれば、しっかりわかってくれて、ためになるアドバイスをくれた人もいた。もう少し自由自在に話す力をつけ、事前の準備を入念にすることが必要だと感じた。今回の研修を通して、海外の生活、人々の習慣、環境についてなど、自分の今まで知らなかったことをたくさん知ることができ、海外に行くことに対する興味も高まった。（2年男子）

・今回のオーストラリア研修は初めての海外、初めてのホームステイと今まで経験したことのないことばかりだった。最初は不安が大きかったが、終わってみるととても有意義な1週間だった。アデレード市内見学ではスマートシティの取組について実際自分の目で見て感じることができた。クラウンフィッシュの授業や ASMS での授業体験のフィールドワークなど、生様多様性に関するプロジェクトは興味深いことばかりでとても楽しかった。特に外に出て鳥などを観察して温度や紫外線等を調べたフィールドワークは自分の目で、耳で、肌で、自然を感じることができて楽しかった。ワイルドライフパークではカンガルーやコアラなどの動物たちと触れ合うことができ、その後の飼育員さんによるレクチャーはとてもおもしろかった。

現地の大学や高校生とのディスカッションは、様々な意見を聞くことができたり、会話できたりしてとても良い時間だった。ホームステイは不安ばかりだったが、ホストファミリーが温かく迎えてくれて一気に緊張がとけた。自分自身のことや学校のこと、熊本のことを話したり、アデレードやオーストラリアのことについて聞いたりたくさん話げできた。海に連れていってもらったり、星を見に行ったり、ショッピングに行ったり子どもたちと遊んだり4日間があつという間に感じるほど楽しくて幸せな時間だった。全体的にもっと積極的に英語を使えばよかったという反省が残ったので、今後の課題としてさらに自分を高めていけるように頑張りたい。今回の経験をこれからの生活にもいかしていきたいと思う。（2年女子）

・今回、オーストラリア研修に参加して、私は人と人とのつながりに国境は関係ないということ改めて学びました。研修に行く前は、言葉の壁や体調の不安から、正直いくのが少し怖いと思っていました。しかし、現地についてみると、周りの方々が思っていた以上に優しく、しかも私と会話しようと熱心に話を聞いてくださったので、あまり流暢に英語を話すことができなくても、意志の疎通はでいるのだと感じました。そこで私自身も、英語を使うことを恐れずにできるだけ多く話をするように心がけて過ごしました。実際にできたかはわからないけれど、そのような心がけをしてからは、それまでよりも、現地の方々と距離が縮まったように感じました。今回の研修は私にとってとても良い経験になりました。様々な文化や考え方にも触れ、とても刺激を受けた7日間でした。英語が全てではなくあくまで「ツール」として、もっと多くの国の人々と互いに理解し合うためにも使いこなせるようこれからの学習を頑張ろうと思います。また、さまざまな考え方と共有できるように外国、そして日本のことについて自分なりの「考え」を持つようにしていこうと思いました。（2年女子）

・私は今回のオーストラリア研修で様々なことを体験しました。まず現地の大学生や高校生と交流したことです。フリンダース大学の学生は様々な国から来ているので一人一人が独特な価値観や文化を持っていて、話していて楽しかったです。また、たどたどしい英語でも必死に聞き取ってくれようとしてくれたので間違いを気にせずに自分から英語で話しかけることができました。次にホームステイをしたことです。ホストファミリーは皆優しくておもしろい方々で、気楽に英語で会話することができ、互いの国の話などもして、オーストラリアのたくさんのことを教えてもらいました。また、空いた時間には、海やショッピングモールに連れて行ってくれたり、夜は星空を見たり皆でゲームをしたりなどアデレードでしか体験できないことをさせてくれました。食事にはフィッシュアンドチップスやカンガルーの肉が出たりして、オーストラリア文化も感じることができました。これからの研修を通して私は英語で話すことに抵抗がなくなりました。初めは大変でしたが、慣れてくると自分から話しかけられるようになりました。また、外国について興味を持つようになりました。オーストラリアには日本と違う部分がたくさんあり、素晴らしいところもたくさんあったので将来留学などをして他国を見て回りたいという気持ちも芽生えました。今回の研修で得た経験をもとにしてこれからの生活をもっと広い視野で見ていきたいと思います。（2年男子）